

会議名 第10回教育委員会定例会議事要録

詳細 教育委員会教育総務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		教育委員会定例会
事務局（担当課）		教育委員会教育総務課
開催日時		平成18年10月10日 午後2時00分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	中島 章皓（委員長）、月岡 透（委員長職務代理者）、 松木 正一、三神 和子、日高 芳一（教育長）
	その他	教育委員会事務局次長、教育委員会教育総務課長、 学校運営課長、教育改革推進課長、教育指導課長、 中央図書館長、統括指導主事
	事務局	教育委員会教育総務課庶務係長、教育委員会教育総務課庶務係 主査、
公開の可否		公開 傍聴人数 0人
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第		<ol style="list-style-type: none"> 1. 第32号議案 豊島区立学校設備の使用料に関する規則の一部改正に伴う立案請求 2. 第33号議案 （仮称）南大塚3丁目プロジェクト新築工事に伴う要請書の提出について 3. 報告事項 平成18年度教育委員会後援名義使用の承認状況（第2四半期） 4. 報告事項 平成18年度授業改善推進プラン教育長ヒヤリングのまとめ 5. 報告事項 平成18年度各学校における「授業改善プラン」の要点 6. 報告事項 平成18年度小中連携教育モデル校の実践について（中間報告）- 概要 - 7. その他

審議経過

委員長)

第10回教育委員会定例会を始めます。本日の署名は三神委員と松木委員にお願いいたします。

(1) 第32号議案 豊島区立学校設備の使用料に関する規則の一部改正に伴う立案請求について

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

いかがでしょうか。

委員)

減免することに問題がありそうでも、強く減免を希望するようなケースはありませんか。
教育総務課長)

平成13年度に有料化したときは線引きについてトラブルになることもあったようですが、現在は免除の対象になるもの、減額の対象になるものの線引きがはっきりしているので登録する際にトラブルになることはありません。

委員)

どのくらいの件数、減免しましたか。

教育総務課長)

413の利用登録団体の内、免除が188団体、残りが減額です。全額負担している団体はありません。

委員)

減額率は何種類ありますか。

教育総務課長)

教室は100分の50、それ以外は100分の75です。

委員)

団体による差がないのであれば、はじめから使用料をその額にすれば減免の手続きが不要になると思います。区長部局との関係もあると思いますが、いかがでしょうか。

教育総務課長)

使用料条例で算出方法が定められており、使用料はそれにより決まっています。

委員長)

よろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

(2) 第33号議案 (仮称)南大塚3丁目プロジェクト新築工事に伴う要請書の提出について

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご意見ご質問お願いします。

委員)

事業主ケイトレイドに対しても要望すべきではないでしょうか。案の「既に・・・」の部分は不要だと思います。

教育総務課長)

提出先を再度検討します。「既に・・・」は削除します。

委員)

プールがマンションの真下になるので目隠し用ネットは必要です。また、新たに引っ越してきた住民から学校の教育活動に伴う声や音に対して苦情などを申し立てることがないように強く要請してください。

学校運営課長)

プールがマンションの真下になる関係で、目隠しは内側に傾斜したものを設置するよう要請します。マンション完成後、地権者が4～5人入居する予定です。もともと地元に住んでいた方たちなので、学校との関係はいいのではないかと思います。

委員)

生徒の安全とプライバシーを守り、学校の教育活動に支障が生じないようにするためにきちんと要請してください。

委員長)

よろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

(3) 報告事項第1号 平成18年度教育委員会後援名義使用の承認状況(第2四半期)

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご意見ご質問お願いします。よろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(4) 報告事項第2号 平成18年度授業改善推進プラン教育長ヒヤリングのまとめ

(5) 報告事項第3号 平成18年度各学校における「授業改善プラン」の要点

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

ご意見ご質問お願いします。

委員)

このように時間をかけてヒヤリングをすれば必ず成果が上がると思います。教員の指導力に問題ありとはっきりしているケースがあるのでしょうか。あるとすればどうするので

すか。

教育指導課長)

指導力の足りない教員に担任を持たせることはないと思います。成績が下がった小学校がありますが、年度途中で担任が変わってしまった影響があったと思われます。成績の変動の大きい中学校もほとんど同じ教員が教えているので、教員の指導力が問題ではないと思います。

委員)

外国籍の子どもも同じテストを受けていると思いますが、日本語通訳は公教育の義務としてつけなくてはいけないのでしょうか。

教育指導課長)

いいえ、区独自のものです。

委員)

子どもは覚えるのが早いので、いつまでも身に付かないとすれば本人の問題です。そういう子どもにいつまでも経費をかけるのは、いかがなものでしょうか。

教育指導課長)

意欲の差によるものもあると思いますが、最低限のことはしなくてはいけないと考えています。

委員)

小テストは有効だと思います。ただ、小テストは多く実施すると評価が甘くなる傾向があります。

教育指導課長)

小テストは途中経過をチェックして、足りないところを復習させるためにやっています。中学校は定期テストがあるので評価が甘くなることはないと思います。

委員)

小学校の国語の成績が上がっているのがとてもいいと思います。熱心に読書活動をしていることと関連があるのでしょうか。

教育指導課長)

読書時間は都全体と比較して長いわけではありません。校内研究のテーマが総合的な学習から本区では国語へ移ってきていることも反映しているのではないのでしょうか。

委員)

調査の対象となった学年の教員だけが考えるのではなく、学校全体の問題として取り組まなければいけないと思います。また、中学校に入ってからどのように変わっていくかも追跡してください。

教育指導課長)

小学校6年、中学校3年を対象とする文部科学省の全国調査もありますので、追跡も可能だと思います。今回は教員レベルで感じ取ってほしかったので、主幹も呼びました。

教育長)

調査の結果として表れた数字を正しく分析しなければなりません。教員をまとめる立場の主幹の意識が変わると影響が大きいと思います。子どもの二極化が見られます。できない子どもはいません。理解が遅れている子どもをどう伸ばすかなのです。高学年はベテランの教員が持つことが多いのですが、ベテランは教育観を変えられず今の子どもに波長を合わせられないこともあります。校長、副校長、主幹とのヒヤリングをこれからも続け、学校全体の雰囲気を作っていきます。

教育改革推進課長)

学校保護者等意識・意向調査では少人数指導への期待が大きいのですが、ヒヤリングの中で「少人数で学んだことが定着しない」という意見があって驚きました。ヒヤリングを今後の教育改革の参考にしていきたいと思います。

委員)

習熟度別の指導もしていると思いますが、クラスの分け方や時々クラスの入替えをすることなど工夫が必要だと思います。できる子どもの力も伸ばさないと私立の学校へ行ってしまいます。

委員)

読書ボランティアの協力を得て読書に力を入れているのはいいと思いますが、これも担任の仕事だと思います。自分のクラス、学校の子どもを一番にしたいという気持ちを持った教員を育ててほしいと思います。

委員長)

他は、よろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

< 10分 休憩 >

(6) 報告事項第4号 平成18年度小中連携教育モデル校の実践について(中間報告)

- 概要 -

< 教育指導課長・統括指導主事 資料説明 >

委員長)

いかがでしょうか。

委員)

以前、中学校の現状を見てほしいということで、小学校の教員に授業参観に来てもらって、意見交換をしました。小中学校の教員同士が理解を深めたら子どもたちが落ち着いてきました。理解し合えるまでは3年くらいかかりました。まず、教員同士が授業について話し合ったり、校長が交流したりして、時間はかかりますが連携を成功させてほしいと思います。

教育指導課長)

モデル校の成果をもとに、来年度広げたいと考えています。

委員)

モデル校でなくても、できることからすぐに始めるといいと思います。

教育指導課長)

一貫カリキュラムは難しく考えなくていいと学校に説明しています。例えば運動会のピストルの撃ち方ひとつにしても、小学校と中学校では違いがあります。小学校の高学年になったら中学校の撃ち方でスタートをさせるなども具体的にできることです。

委員)

お互いに何を知らないかを確認することが大事なので、そこを意識するといいと思います。学習内容の先取りにとらわれず、連携を進めてほしいと思います。

教育指導課長)

小中学校の教員はお互いにどういう教科書を使っているのか知りませんでした。教科書センターで見る以外は目にすることがなかったので、小学校には中学校の、中学校には小学校の教科書を配ることにしました。

委員長)

よろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(7) その他

東京文化財ウィーク2006年

静谷晴夫前教育委員文部科学大臣賞受賞について

体力向上について

(午後5時00分 閉会)